

from
1933 to 2023

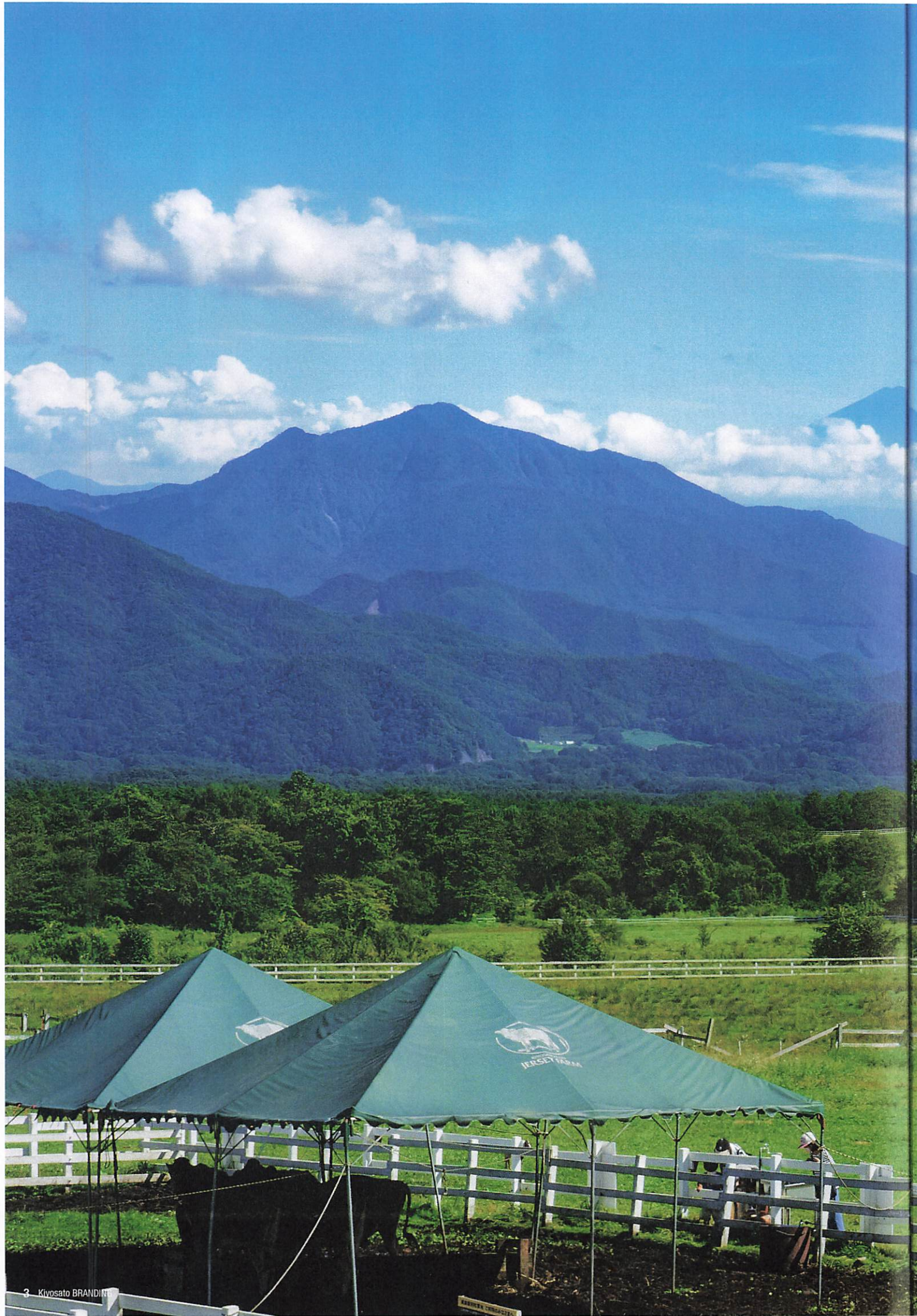
清里の現在地と、未来図。

八ヶ岳南麓、山梨県北杜市にある高原の街「清里」。
ポール・ラッシュ博士をはじめとする開拓者精神溢れる人々の挑戦によって
多くの人に移住し、暮らしを営み、その中で数々の文化が生まれ、
いつしか八ヶ岳エリアを代表する高原リゾート地へと発展した場所だ。
1933年に清里駅が開業してから90年、
長い時間の中でさまざまに変化を続けてきた清里に、今、また新たな変化が生まれ始めている。

本誌「清里ブランディング」は、
いつの時代もアップデートを続ける「清里」という街の魅力を追い続ける、
全く新しいリージョナルマガジンです。
創刊第1号では、そんな清里に産声を上げた地域創生プロジェクトの現在をはじめ、
清里の歴史から、地元を代表するスポットが生み出した新たな魅力まで、
高原の街に生まれた、数々の「未来の種」をご紹介します。

創刊

Kiyosato BRANDING



鼎談

自由な発想で思い描き、語り合う清里の未来

清里再生に向けタッグを組む中野シロウ氏と大久保悠祐氏。そして上村英司・北杜市長が集い、清里の未来について語り合った。現在地点から夢は膨らんでいき、そこに垣間見えたのは壮大なビジョンだ

行政、街づくり事業、デザインというそれぞれの立場で、密接につながりながら清里ブランディングに挑む3人。打ち解けた雰囲気、ざっくばらんにアイデアや思いを交換した。



Play set products
オーナー
中野 シロウ

ダイレクト・ホールディングス
代表取締役
大久保 悠祐

山梨県北杜市
市長
上村 英司



ネームバリユーの清里 ゆるやかな時間が魅力

中野 約3年前に清里に移住し、駅前店舗の改装などを進めてきました。そんな中、「地域創生に取り組んでいる面白い人がいる」と紹介されたのが大久保さん。僕の考えに賛同いただき、2人ともせっかちなので「すぐやろうー」となり、活動が加速、本格化しました。大久保 元々はビジネスサポートの事業が中心ですが、近年、社会課題の解決に繋がる新規事業をスタートしており、中野さんと組むことでいい化学反応が起きる予感がありました。

中野 北杜市には親善大使にも任命いただき、絵本など色々デザインさせていただいています。移住前に僕が北杜市で名前を知っていた街という清里。そのネームバリユーはやはり強いと思います。市長は北杜市生まれなので全盛期もよくご存知ですよ。

上村 家業が酒屋だったので、夏にはトラック満載のビールを懸命に運びました。人が溢れてすごかったですよ。最近伝えようとしているのはゆったりとした魅力です。

中野 確かに、ゆっくり時間が流れ、1日が26時間ある感じです。

清里の新たな賑わいが、 鉄道を通じて広がっていく。 そんな未来が創造できたら

**必要なのは住まいと雇用
医療・教育の充実**

中野 北杜市全体の人口ですが、現在の状況はどうですか。

上村 2004年の7町村合併時は4万4000人で、2006年は小淵沢町と合併したときは5万人。現在は4万6000人です。

中野 なるほど。そんな中、人が増えているのは別荘地で人気の大泉で、新しい家も続々建っています。でも清里は現在、売りに出ている家も住宅地も全くありません。なぜでしょう？

上村 今までは人気がなかったからでしょう。地価が高く、下がってはきても他に比べると高いこともあり、出ていく人の方が多かったです。でも、潮目が変わってきたと感じています。

大久保 そうですね。新しいことを始めるのにいいタイミングです。

中野 清里については移住者を増やすこともテーマですね。

大久保 それには若い夫婦などに住みたいと思ってもらえるような街にしないとイケない。

中野 第一の課題は住まい。住宅地です。また、清里は賃貸もほとんどないから、とりあえず住んでみることもできない。後輩がアパートを作ると言っていますが。

上村 市ではアパート建設に補助金制度を設けられます。

中野 そうなんですか！

上村 あと職場、仕事ですよ。

中野 駅前に飲食店を増やすことで一定の雇用が生まれます。地域創生に関心を持つ企業は多く、PR次第で誘致も可能です。

大久保 テレワークもしやすいよ



うにゆくゆくはコワーキングスペースなども作ろうと考えています。それと不可欠なのが教育や医療。まずは魅力ある街を作り、それらを充実させていく計画です。

中野 病院は絶対ですね。そういえば大久保さんの会社はメディカ

ル関係も手掛けられています。

大久保 地域創生に必要なものを調べたら、医療と教育、防災だとわかり、その流れで始めました。

上村 ポール・ラッシュ博士が拓いた清里。教育ではインターナショナルスクールも合いそうです。



大久保 いいですね。今は日本の高卒資格が取れるインターナショナルスクールもあるので、そういったものを取り入れ、通学・オンラインの両輪にすれば物理的制約がなくなり、事業としても成り立ちやすい。成功例も増えています。

中野 あと、塾もほしいですね。大久保 そのノウハウもあるので検討していきます。「移住したい

けど教育が心配」といった声にもしっかり対応したいと思います。

まずは飲食店を増やして情報を発信していく

中野 高速道路の計画も進んでいます。

上村 中部横断自動車道のインターが市内に2カ所できる計画で、その一つは清里です。

中野 楽しみです。その周辺に広がるができるはずですから。観光客は僕が移住した頃より増えている気がします。土日もですが、連休ともなるとすごい人で。地元の方々が努力されてきて、「萌木の村」「清泉寮」など人気スポットがあり、ポテンシャルが高いのが清里です。ただ、民間でできないことも多々あり、特に電線の問題です。美化はリゾート地として重要なので、市に期待しています。今、僕らの方では、移住にも観光にもポイントとなる飲食を、どう取り入れていくか詰めているところです。

上村 どんなジャンルをお考えですか？

大久保 カフェやレストラン、居酒屋、バーなどを考えています。今もおいしい、いい店がたくさん

あるので、点在していたり、情報が発信されていなかったりするの、新しいものを取り入れながら、情報発信していくことで、街全体の活性になるのではと。

中野 宿泊施設などの情報も併せてまとめ、発信してもらう予定です。飲食店に関しては、市長はどうお考えですか？

上村 地産地消ができるようなお店がいいのでは。市全体では米も野菜もあるし、清里には酪農・畜産もあります。

中野 市役所の商工・食農課の方たちも頑張っておられますしね。水がこれだけいいので、水のブランドも打ち出せたらいいですよ。

上村 最近はやインという特徴も。今まではほとんどなかったワイナリーが10以上できています。

大久保 地元産ワイン専門のバーとかもあるといいですね。

中野 こうして話していると無限に広がっていきます。重要課題は駅前です。80年代の雰囲気、映画のセットのような街並みはできるだけ残しながら、新たな賑わいを作りたい。駅前から賑わいが広がっていくイメージです。この私物ミュージアムも活性化に役立て

たく、一般公開に向けて準備していきます。

大久保 駅からミュージアムまで一体で構成される清里の世界観。それが鉄道を通じて他の街へも広がる。実現できたらすごいですよね。ワクワクします。

中野 そんな未来に向かって力を合わせていきましょう！



たく、一般公開に向けて準備していきます。

大久保 駅からミュージアムまで一体で構成される清里の世界観。それが鉄道を通じて他の街へも広がる。実現できたらすごいですよね。ワクワクします。

中野 そんな未来に向かって力を合わせていきましょう！

1933-2023

● 1939(昭和14)年
開拓農家28戸の住宅、通称「千円の家」の建設が始まる。

● 1939(昭和14)年
「開拓神社」が創建される。

● 1937(昭和12)年
ポール・ラッシュ教授が清里村のキャンプ施設を「清泉寮」と命名。

2人の清里開拓の父が来村

● 1936(昭和11)年
のちにハヶ岳区開拓の父と呼ばれる安池興男(おきお)が、山梨県営ハヶ岳開墾事務所所長に着任。同年晩秋、立教大学教授のポール・ラッシュが青少年指導者訓練キャンプ場の建設用地の視察で清里村を訪問。

1930

ハヶ岳地区 開拓の始まり

● 1938(昭和13)年
丹波山・小菅村の水没農家が、ハヶ岳開墾事務所や倉庫を改装した仮設宿舎で共同生活に入る。

清里高原観光の 始まり

● 1938(昭和13)年
日本聖徒アンデレ同胞会の青少年訓練キャンプ施設「清泉寮」が開設。落成を記念して日本旅行協会(JTB)が特別観光列車を運行。一般観光客含む約800人が参加。

清里駅開業!

● 1933(昭和8)年
佐久鉄道により、小海南線小淵沢駅~清里駅間が開通し、清里駅も開業。



KIYOSATO HISTORY

「清里」 90年史

2023年は清里駅開業からちょうど90年の節目の年。ポール・ラッシュ博士が活躍した清里の開拓時代から、1980年代、バブル期の観光地時代を経て、移住・定住の地へと清里は変遷していく。本誌「清里ブランディング」では、農業、文化、観光、移住といった側面に注目し、「清里」の街が歩んできた、激動の90年間を追った。

※年表出典「ハヶ岳清里資料館」「ハヶ岳清里アーカイブ」
※本年表は様々な文献からの出典や地域へのヒアリングなどによって編纂されたものです。
一部、明確な記録が存在しないものもあるため、記載されている年・情報が多少前後する場合があります。

ハヶ岳清里資料館(ハヶ岳 commons 内)

やつがたけきよさとしりょうかん(やつがたけ commons ない)

☎ 0551-45-8906

📍 山梨県北本市高根町清里3545-2083



- 1956(昭和31)年
財団法人キープ協会設立が認可される。
- 1956(昭和31)年
清里村が高根村に編入。同日に清里村は廃止。
- 1956(昭和31)年
山梨交通バスが韮崎～清里駅間の路線バスを開通。当初は1日4往復。
- 1955(昭和30)年
清泉寮が風呂場の失火から全焼。
- 1954(昭和29)年
第1回清里カンティフェアが高原収穫祭として開催され、およそ2000人の農民が参加する(第4回からハヶ岳カンティフェアと改称、1973年まで開催)。

高冷地酪農の可能性を広げた ジャージー牛

- 1951(昭和26)年
アメリカ・テネシー州の農家より、ジャージー牛のロンリーブルが、アイオワ州の教会信徒からジョンディア大型トラクターがそれぞれ寄贈される。
- 1951(昭和26)年
清里の社会事業を「KEEP(清里教育実験プロジェクト)」と命名し、新名称を発表。

- 1950(昭和25)年
ポール・ラッシュが清里に凱旋。以後、「清里の人」として、日本の復興に専念することを宣言。

1950

清里の高地農業と観光開発がスタート

- 1946(昭和21)年
ポール・ラッシュが「村落共同体プロジェクト」を発表。酪農などの新しい農業を広めて、観光開発を行うことを宣言する。

戦争の終結とポール・ラッシュの再来日

- 1945(昭和20)年
第二次世界大戦終結。ポール・ラッシュが日本復興のため、連合国軍総司令部(GHQ)の将校として再来日。

清里聖ヨハネ保育園開園

- 1957(昭和32)年
清泉寮本館再建、清里聖ヨハネ保育園開園。ハヶ岳アウトリーチ・ステーション(弘道所)活動開始。



- 1952(昭和27)年
アメリカから高冷地農業の支援物資(ジャージー、ホルスタインなどの登録乳牛、ヘレフォードなどの肉牛の種牛、農業用トラクター、アルファルファなどの牧草種子、ブロッコリー、レタスなどの高原野菜の種子など)が届く。乳牛、肉牛の飼育、高原野菜の栽培試験が本格的に始まる。

清里が日本のジャージー牛酪農の中心地に

- 1953(昭和28)年
農林省は清里農村センターの酪農実験成果とラッシュの助言をもとに、ジャージー種乳牛の大量輸入と酪農による新農業開発を目的とした事業を始める。米国から580頭のジャージー牛が緊急輸入され、このうち144頭をハヶ岳山麓の農家に固有牛として貸し付け配給した。

- 1948(昭和23)年
ポール・ラッシュが清里農村センター(略称・キープ)建設に着手。

- 1948(昭和23)年
「ハヶ岳観光協会」設立。

清里のための全米募金ツアー

- 1949(昭和24)年
GHQを退役したポール・ラッシュが、祖国アメリカで清里のモデル農村建設事業のための全米募金ツアーを始める。翌年9月まで、ステーションワゴンで30州を巡回。

1940

清里酪農の先駆け

- 1941(昭和16)年
長野県南牧村に暮らしていた茅野達一郎が清里に入植。ホルスタイン種による酪農を始める。

- 1941(昭和16)年
開拓神社を「御崎大神社」として遷座祭典。

第二次世界大戦の影響で清泉寮を閉鎖

- 1941(昭和16)年
日米関係の緊迫化に伴い、ポール・ラッシュ教授が「清泉寮」を閉鎖。その約2カ月後に太平洋戦争が始まる。

清里のために 生きた清里の父

1979(昭和54)年

ポール・ラッシュが東京聖路加国際病院で死去、82歳。遺骨は清里聖アンデレ教会に眠る。



1973(昭和48)年

清里観光振興会が設立。

1973(昭和48)年

ハケ岳カンティフェアが終幕(20回を重ねる)。

次のステージへ。 「清里開拓時代」 の終わり

1973(昭和48)年

念場原開拓農業協同組合が解散登記し、一般農協に移行。

アンノン族と 呼ばれる女性観光客 を中心に、80年代 清里ブームが訪れる

1970~1980年代

女性向けファッション雑誌『an・an(アンアン)』(平凡出版・1970年~)『non-no(ノンノ)』(集英社・1971年~)が相次いで創刊。清里が女子旅の特集に取り上げられるようになり、若い女性を中心に観光客が急増し、アンノン族と呼ばれるようになる。清里にはタレントショップや民宿、ペンションが立ち並び、1970年代中期~1980年代には清里駅前商店街は「高原の原宿」と呼ばれるほどの大ブームになった。

1959(昭和34)年

清里駅、清泉寮、清里農村センターを舞台に撮影された映画『男が爆発する』(舛田利雄監督、日活)が石原裕次郎主演で公開される。ハケ岳高原がキリスト教主義にもとづく酪農のユートピアとして全国に名前を知られるきっかけとなる。

1959(昭和34)年

興水油店が開業(興水順治)。清里で最初のガソリンスタンド。

1958(昭和33)年

山梨県林務部が清泉寮の成功をモデルに県有林活動のため「学校寮区」を開設。東京教育大学学校寮が入居。清里に学校寮ブームが起こる。

1960

1976(昭和51)年

清泉寮のソフトクリームが販売開始。バブル期には年間100万個以上を販売し、清里を代表する人気商品となる。

清里ペンション・ブームの幕開け

1977(昭和52)年

脱サラしたオーナーによる、清里高原のペンション第1号『はあと』がオープン。脱サラオーナーによる清里ペンションブームの先駆け。その後10年で清里のペンションは100軒を超え、県下最大のペンション観光地となる。

1977(昭和52)年

マンガ「続 年下のあんちくしょう」(吉田まゆみ・作)に清里駅、喫茶ミルク、小須田牧場、清泉寮が登場。

1970

1970(昭和45)年

キープ乗馬会発足。

ロックとミルク、 2つの喫茶店が 清里の喫茶店 ブームを起こす

1971(昭和46)年

ハケ岳地区国道沿いに『ロック』が開店(写真上)。後に『ミルク』も開店(写真下)。清里に喫茶店ブームが起きる。



1962(昭和37)年

経営学の世界的権威であるピーター・ドラッカーが清泉寮を訪問。清里農村センターの支援を表明する。

1964(昭和39)年

朝日が丘の谷口牧場が民宿を始める。牧場民宿の先駆け。

1967(昭和42)年

清里旅館組合設立。

1969(昭和44)年

国道沿いに『ドライブイン清里』がオープン。後に喫茶店ロックと改称。

1969(昭和44)年

清里民宿組合が設立。初代組合長に小須田正市氏を選出。民宿経営が軌道に乗り始める。



● 2017年(平成29)年
夏フェス『ハイ・ライフ
ハヶ岳』がサンメドウズ
清里スキー場にて開催
される。

● 2016年(平成28)年
萌木の村のレストラン
『ROCK(ロック)』が全
焼。翌年6月9日、全国か
らの支援によって再建。

● 2008(平成20)年
北杜市高根町清里で撮
影された映画「西の魔
女が死んだ」が全国一
斉ロードショー。

● 2004(平成16)年
北巨摩郡に所属する町
村のうち、小淵沢町を
除き、長坂町・高根町・
大泉村・白州町・武川
村・須玉町・明野村の7
町村が合併して北杜市
となる。

● 2000年頃
清里駅周辺の観光ブー
ムが沈静化し、タレント
ショップなどの閉店が
相次ぐ。

● 1988(昭和63)年
第1回ポール・ラッシュ祭~ハヶ岳
カンティフェアを開催(ハヶ岳カ
ンティフェアが復活)。

● 1986(昭和61)年
山梨県企業局が念場原に総合ス
ポーツ・レクリエーション施設「丘
の公園」を開設。2004年4月から、
株式会社清里丘の公園が指定管
理者として管理・運営を行ってい
る。

清里の高級 別荘地化が始まる

● 1985(昭和60)年
山梨県林務部が国有林高度活用
事業「清里の森別荘地」を借地権
分譲で売り出す。昭和63年まで
に約800区画を販売。

2020

2000

1980

● 2020年(令和2)年
旧北杜市立高根清里小
学校跡地にハヶ岳コモ
ンズオープン。

● 2023年(令和5)年
1月、本誌『清里ブラン
ディング』創刊。



2010

● 2011年(平成23)年
6月、ライフスタイル誌
『ハヶ岳デイズ』創刊。



● 2012年(平成24)年
萌木の村にて、ポール・
スマザーによる庭づくり
が始まる。

1990

● 1990(平成2)年
キッツメドウズ大泉・
清里スキー場がオープ
ン(旧山梨県営スキー
場)。

清里フィールド バレエ開催

● 1990(平成2)年
清里萌木の村で「第1回
清里フィールドバレエ」
が開催。日本で唯一、長
期間にわたり連続で上
演されている野外バレ
エ公演として夏の風物
詩となっている。

● 1996(平成8)年
キープ協会がポール・ラ
ッシュ記念センターを開
設。

● 1982(昭和57)年
清里高原ペンション組
合が設立(清里ペンシ
ョンブームの最盛期)。

● 1983(昭和58)年
安池興男が死去。79歳。
せい夫人とともにハヶ
岳共同霊園に眠る(分
骨)。

SEISEN-RYO

原点回帰と新たな魅力で、
新時代を拓く清里のシンボル

伝統の清泉寮に生まれる 新しい物語と歴史



清里の父と呼ばれるポール・ラッシュ博士によって創設され、
70年の伝統を紡ぐ清里高原のシンボリックな存在。
その清泉寮に今、未来に向けた新たな歴史の1ページが開かれようとしている



公益財団法人キープ協会
専務理事
林正人さん

観光から体験・研修まで、幅広い事業を展開する清泉寮の業務全体を統括。



研修交流事業部
清泉寮総支配人
浅井明さん

本館・新館・森の中に建つコテージから成る清泉寮宿泊施設の総支配人を務める。



製販事業部 事業部長
和田敏彦さん

清泉寮内のショップで扱う商品セレクトやオリジナル商品の開発を担当。

「赤毛のアン」がモチーフのスーベニアショップ

森に囲まれた広大な土地に、宿泊施設やレストラン、ショップ、ミュージアムなどが点在し、酪農体験や環境教育といった活動を展開する清泉寮は、観光・研修のフィールドとして知られている。そこに何が起きているのか。運営するキープ協会の幹部に聞いた。

「コロナ禍で大きな打撃を受けた清泉寮が今後どうあるべきかを見つめ直した時、原点に立ち返る必要があると考えました」と林正人さん。「キリスト教の精神が基盤にあり、創設者のポール・ラッシュン博士が戦後最初に起こした事業は農場、そして保育園でした。そうした清泉寮ならではのもの、清泉寮にしかないものを核に、強く発信していくことが未来を切り開く第一歩だと考えました」と続ける。象徴的なのが、自然放牧主体の

飼育で有機ジャージー牛乳を生産する循環型酪農だ。「ジャージー牛ファンクラブを立ち上げ、情報発信したことで我々の取り組みを広く知っていただけるようになり、2022年の夏は牛乳の

販売が大きく増加。本物が求められている。その追求が私たちの歩むべき道と考えています」と林さん。また、「収穫感謝祭」も自分たちらしいものにしたという。ここにしかないものを。その考

えに沿うさらなる大きな変化が新ショップの誕生だ。それは、中野シロウ氏がプロデュースする清里のスーベニアブランドのショップ。「アン・オブ・キヨサト」のネーミングで、名作アニメ「赤毛のア



ンの新たな世界観を展開するものだ。「オープンには2023年春の予定。新しい魅力となり、清泉寮をご存知なかった方に訪れていただけるチャンスも生まれます。赤毛のアンイメージは清泉寮にぴったりです。清里を元気にする起爆剤になると期待しています」と林さん。

浅井明さんは「宿泊施設の客室は本館・新館・コテージを合わせて72室ありますが、その全てに赤毛のアングッズを置こうと計画しています」と言葉添える。

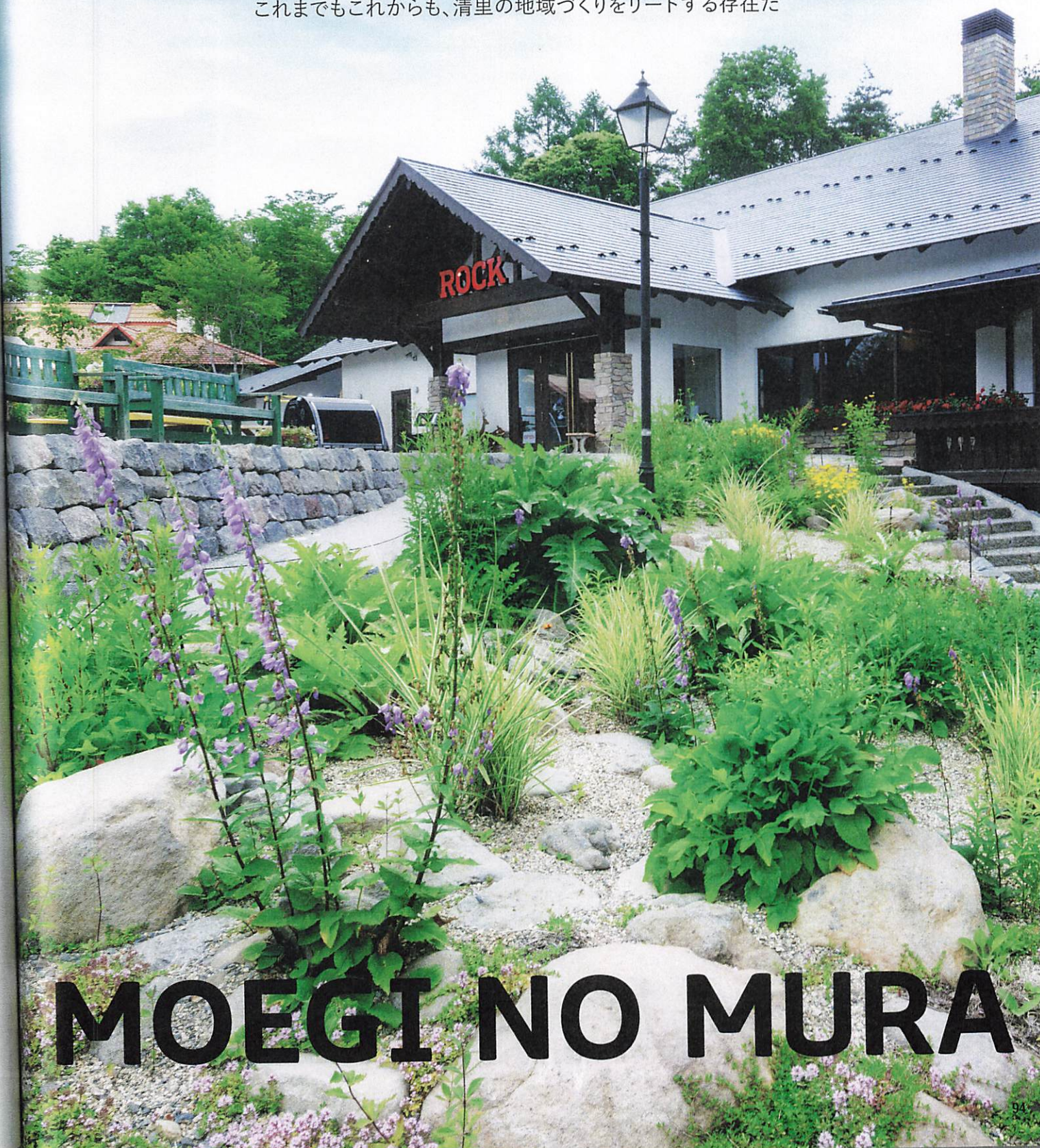
また、「一部の商品は他の売店でも扱う予定」と和田敏彦さんは語る。清泉寮といえば、ジャージー牛乳のソフトクリーム。シーズンには長蛇の列ができるほどの人気だ。オリジナル商品も数多く、最近ではミルク豚骨ラーメンといったユニークなものも登場している。「新商品の企画も進めています。ただ中身にこだわるため多くは作れず、本当にいいものを長く愛していただきたいというスタンスです」。そこにも当てはまるのが「アン・オブ・キヨサト」だ。

大切なものを見つめ直し、守りながら、新たな物語と歴史を紡ぐ清泉寮。その今後に注目したい。

自然と共生し、
アート&カルチャーを花咲かせる

伝説を重ねて地域をリード 「萌木の村」から発信する清里文化

約1万坪の敷地に清里高原の原風景が広がり、レストランやホテルをはじめ
多彩な施設が点在。人気の観光スポットであり文化の発信地である「萌木の村」は
これまでもこれからも、清里の地域づくりをリードする存在だ



MOEGI NO MURA



右/ポール・ラッシュ博士と幼少の頃の松木さん(左)。中/国道141号線沿いにあった初代「ロック」。左/ナチュラルガーデンは英国人ガーデニングデザイナー、ポール・スミザーさんが監修。ハケ岳の山野草を中心に本来の清里の風景を再現している。

ポール先生が愛した風景を守りたい 目指すは真に文化的なりゾートタウン

喫茶「ロック」を起点に 時代の流れの中で発展

野の花があらのまま咲く広大なガーデンに、レストランやカフェ、ホテル、ビール醸造所、ショップや工房、オルゴール博物館、メリーゴラウンドなど、約25の施設を擁する「萌木の村」。多くの人に愛される憩いと癒やしの郷、その歩みは清里半世紀の歩みでもある。

社長の松木上次さんは、清里に生まれ、幼少期を清里開拓の父、ポール・ラッシュ博士の側で過ごし、その薫陶を受けて成長。博士のもとに全国、海外から客人が頻繁に訪れるのを間近に見ながら「自分もいつかお客さんをもてなしたい」という思いを胸に宿した。

そしてレストラン業に興味を持ち、1971年、23歳で清里初の喫茶店「ロック」を開店した。松木さんは「当時清里になかった若者が集まれる店を作りたい」と思っていた。それが「ね」と振り返る。



時は高度経済成長期。人々が遠出を樂しむようになると清里が注目され始め、やがてバブル期が到来。女性誌で特集が組まれ、清里ブームが爆発する。押し寄せる乱開発の波。松木さんは対抗策とし

て土地を買い、まずホテルを作った。「ポール先生が生涯愛した清里の自然を守りたかった。まとめて買う余裕はなかったから。継ぎ足し、継ぎ足しで土地を買い、施設を順番に増やしたんだ」。

こうして出来上がっていったのが「萌木の村」だ。約10年かけてナチュラルガーデンを整備したことで、村は守りたかった清里そのものになった。「ロック」は97年に現在地へ移転。ビール醸造所を併設するブルーパブに生まれ変わった。その2代目「ロック」は、2016年8月に火事で全焼するも、翌17年6月、ファンの熱い応援、スタッフの強い思いで、異例の速さで復活を遂げる。

また、「萌木の村」は1990年から続く野外バレエ公演「清里フィールドバレエ」、その25周年をきっかけに始まった「萌木の村スペシャルウィスキー」など、ここにしかない文化を生み出している。「欲望の質が高いのが文化。文化があるのが本場のリゾートタウンで、清里はそうなる可能性がある」と信じているんだよ。それにリーダーが必要なので、中野(シロウ)さんのような人が引っ張っていつてくれるといいよね」。

萌木の村株式会社
代表取締役社長
松木上次さん
1949年清里生まれ。東京の大学へ進むも中退し、1971年に「ロック」を開店。1977年に会社を設立し、「萌木の村」の数々の事業を率いる。同時に各種活動を通じて清里の活性化に奮闘。2003年、内閣府の観光カリスマ百選「開拓魂のカリスマ」に認定される。

「萌木の村」から発信し、
年月を刻むウイスキーという文化

WHISKY

名手たちが織り成す
「清里の奇跡」
物語と飲む至高のウイスキー



FB28th

肥土伊知郎さんによる、羽生蒸溜所と川崎蒸溜所の原酒を用いた3作目。刻々と変化する味わい、深い余韻が前2作とは異なる感動を生む。



FB27th

フィールドバレエ誕生年、1990年蒸留の羽生モルト原酒と長期熟成の川崎グリーン原酒で構成。溶け合う魅力で自然と人の調和を表現。



FB26th

イチローズモルト、肥土伊知郎さんによる清里フィールドバレエウイスキー第1作。貴重な羽生蒸溜所と川崎蒸溜所の原酒をブレンド。



FB25th

モルト原酒を厳選。興水精一さんのブレンダー人生最後の作となった。「Best Japanese Blended Whiskey of the Year 2014」を受賞。

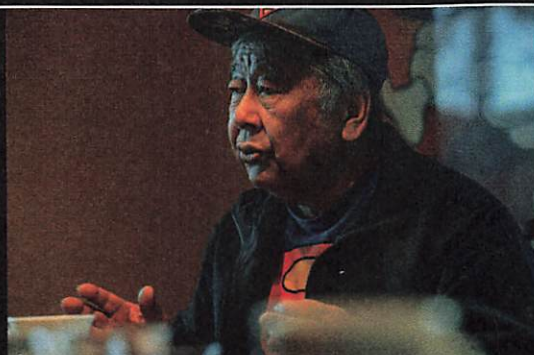
清里フィールドバレエの
メッセージを届ける

日本を代表するウイスキーブレンダーが特別に手掛ける数量限定品。国内外のウイスキーコンペで多数の銘柄が受賞を果たし、愛好家に「奇跡」と言わしめた「萌木の村スペシャルウイスキー」。

その皮切りはサントリーの4代目チーフブレンダー、興水精一さんが手掛けた「清里フィールドバレエ25周年記念ウイスキー」だ。「日本初の、売るための『商品』ではない『メッセージ』としてのウイスキー」と萌木の村社長の船木下次さんは胸を張る。

25周年にちなむ25年以上熟成の白州モルト原酒を主に、山崎の超長期熟成をはじめ個性あるモルト原酒をブレンド。バレエの優美さ、奥深さなどを表現したウイスキーに世は騒然。継続を望む声を受け、ストーリーは続いていく。

26、29周年を手掛けたのはベンチャーウイスキーの肥土伊知郎さんだ。世界のマニアが注目するイチローズモルトの生みの親だ。いずれも、当時既に閉鎖された羽生蒸溜所と川崎蒸溜所の残りわずかな原酒を使用。その出合いはバレエと自然の融合を見事に表現した。



右/施設内のバー「パーティ」の一角。ポール・ラッシュ博士の写真の前に博士が愛したウイスキーがささげられる。左/「旨いんだよ！」と上次さん。「いや、俺はわかんないけど。みんなが絶賛してくれるからすごいと知ったわけ」。

清里の自然とストーリーを体現。心を沸かせ、感動を生む命の水。
それが「萌木の村スペシャルウイスキー」だ

清里と萌木の村の周年ウイスキー

フィールドバレエ以外にも節目を祝うウイスキーをリリース。2017年には「ポール・ラッシュ生誕120周年記念ウイスキー」「同バーボンウイスキー」が、2022年には「萌木の村50周年記念ウイスキー」が誕生。



右/福與伸二さんの手による「ポール・ラッシュ生誕120周年記念ウイスキー」。中/「ポール・ラッシュ生誕120周年記念バーボンウイスキー」はメーカーズマークのプライベートセレクト。左/肥土伊知郎さんによる「萌木の村50周年記念ウイスキー」。



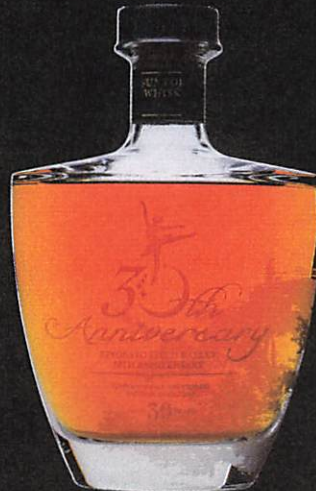
FB32nd

秩父蒸溜所の樽から、演目「眠れる森の美女」に合わせ、薔薇の花を想起させるポートワイン樽をはじめ数種のモルト原酒をブレンド。



FB31st

肥土伊知郎さんが拓いた新たな世界。演目「白鳥の湖」の白と黒のイメージで、秩父蒸溜所からピュアな印象、スモークな印象の樽を選んだ。



FB30th

サントリーの福與伸二さんによるシングルモルト。白州蒸溜所のモルト原酒から30年以上の長期熟成を選択。15本という超限定のリリース。



FB29th

貴重原酒でできたイチローズモルトのオリジナル4作目。その奇跡は「第1回東京ウイスキー&スピリッツコンペティション」で最高金賞に輝く。

だつて俺は下戸、飲めないからさ。

を経た変化を感じるのが面白さ
と、みんなの話を聞いていて思っ
なる。ウイスキーはその極みに
うだけど僅差を積み上げ大差に
船木さんは語る。「街づくりもそ
創造性、感性が融合する芸術」と
どうにもならない。自然と人の

ウイスキーは「人の力だけでは
いるから、楽しみにしてて」。

キホーテ。「詳細はまだ秘密。さ
らに秘密のウイスキーを用意して
表される。バレエの演目は「ドン・

11本がリリースされている。

その他のアニメ「バーサリウイ
キー3本を含め、「萌木の村ス
シヤルウイスキー」は9年間で計

フィールドバレエを表現するウ
イスキーは、物語に浸りながら味
わえるという点でも特別なもの。

フレンドし、新境地を拓いた。

31、32周年は再びイチローズモ
ルト。秩父蒸溜所で時を待って

傑作は、わずか15本限定だ。

30周年はサントリーの5代目
チーフブレンドラー、福與伸二さん
が手掛け、30周年に相応しい白州
モルト原酒30年以上をブレンド。
森に舞うバレリーナの姿が浮かぶ
傑作は、わずか15本限定だ。

BAR



全銘柄を飲める特別なバー「パーチ」

数量限定で希少な「萌木の村スペシャルウイスキー」の全銘柄が飲めるのが、村内のホテルにあるオーセンティックバー「パーチ」だ。これを目当てに海外から足を運ぶ人もいう。15本限定のFB30thが飲めるのはここだけ。飲み比べというここだけの体験も。

山梨・北杜市
Perch バーチ

☎ 0551-48-2131 📍 山梨県北杜市高根町清里3545萌木の村

ホテル ハット・ウォールデン2F 🕒 17:00~25:00 (L.O.24:00)

※最終入店23:00 🚫 無休(臨時休業あり)

不朽の名物「ROCKのカレー」はもちろん
ビアレストランとしてもますます飛躍していく

ROCK

数々の世界一を誕生させる 八ヶ岳のクラフトマンシップ

メイド・イン・清里の 代表格であるビール

清里のソウルフードでもある「ROCKのカレー」。そのカレーに並ぶ名物が店内の地下醸造所で作るクラフトビールだ。「八ヶ岳ブルーワリー」ブランドからは、IBCインターナショナルピアカップで3度の世界一を達成。「非加熱・無濾過のできたての生ビールが飲めるビアレストランとしてのROCKを、もっとPRしていきたいです」と店長の船木俊さんは意気込みを見せる。現在でも、春先にだけ採れる白樺の樹液を使った「白樺ビート」、北杜市産のホップを使ったピルスナー「HOKUTO」、ラガータイプの黒ビール「ショコラシュヴァルツ」など、さまざまなビールを送り出している。「仕込み途中の麦汁の試飲など、ビール愛好家のためのサービスもやってみたいですよ」。



ROCK店長 船木俊さん

船木上次氏の弟・淳氏の長男。「英国風パブHUB」で店長を10年務めたのち、2022年10月、現職に就任した。



萌木の村が誇るプロダクト「タッチダウンビール」のラインアップ。写真の6種に加え、期間限定品なども登場する。

WINTER BOOTS

厳冬の八ヶ岳での
パフォーマンスアップ!

Danner×萌木の村ROCK
コラボレーションスノーブーツ

アウトドアブーツの定番ブランド・Dannerの軽量&防寒スノーブーツ「FREDDO」とのコラボ商品も中野シロウ氏のディレクションにより展開。冬の清里での使用を前提に、実用性を極限まで高めたスノーシューズだ。



WATER

ROCKスタイルの
ミネラルウォーター

ナチュラル
ミネラルウォーター (300ml)

山梨の天然水を、中野シロウ氏によるROCKオリジナルデザインのスキットル型ペットボトルにイン。加熱処理を行っていない本物のナチュラルミネラルウォーターで、ポケットやバッグにも入れやすく、持ち運びしやすい。



「今、すでにあるもの」に注目し
新たな価値を発見する

MERRY-GO-ROUND

日本中の誰もが目にしている 森の中のメリーゴーラウンド



森の高台にあるメリーゴーラウンド

アメリカの移動遊園地でも利用されている組み立て式のメリーゴーラウンド。オルゴールの優しい音色を森に響かせている。1993年に萌木の村にやってきて、船木次さんが「カルセル・オブ・ドリーム」と名付けた。

萌木の村 役員
船木良さん

ROCKの創業者である船木次氏の弟。中学生時代の手いからROCKに携わり、以降も「萌木の村」の歴史を見守り続けている。ラリードライバーとしての顔も持ち、世界レースに出場している。



“清里にしかない当たり前”の代表格

森の中に佇む日本唯一のメリーゴーラウンド「カルセル・オブ・ドリーム」。アーティストのPVや企業CMの撮影に頻繁に使われているので目にしたことがある人も多いのでは。「CGで何でもできる時代に、わざわざここで撮影したいという依頼があるのは嬉しいことです」と話すのは萌木の村の船木良さん。日本中の人が知っているはずのもの

だが、これが萌木の村にあるということを知らない人は意外と多い。「清里だけにしかないものを突き詰めていきたい」という中野シロウさんに、このメリーゴーラウンドに注目してもらって、自分も初めて

ハッとしました」。清里の新たな価値を生み出すアイコンとして、「カルセル・オブ・ドリーム」は大きな可能性を秘めている。



22回目の開催となる 清里の秋を彩る雑貨のマーケット

FESTIVAL

八ヶ岳南麓在住のミュージシャン・さとうこむぎ(Comugi)さんによる
ウクレレ弾き語りのライブパフォーマンス。



ハンドメイド作品が一堂に会する カントリーフェスタ in 萌木の村

雑貨やフードが集結！
ライブイベントも開催

年間を通してさまざまなイベントで賑わう萌木の村。毎年10月に開催される雑貨の祭典「カントリーフェスタ in 萌木の村」は、22年前に始まり、毎回1万人を超える来場者がある。田舎や田園、素朴さを意味する「country」は、雑貨分野では自然素材が由来の温かみのあるハンドメイド作品を指す。2022年10月22日と23日の2日間にわたって開催された「カントリーフェスタ」では、雑貨という「モノ」を通して、心や思い出、時間を繋ぎたいというテーマ性をより強く打ち出した。

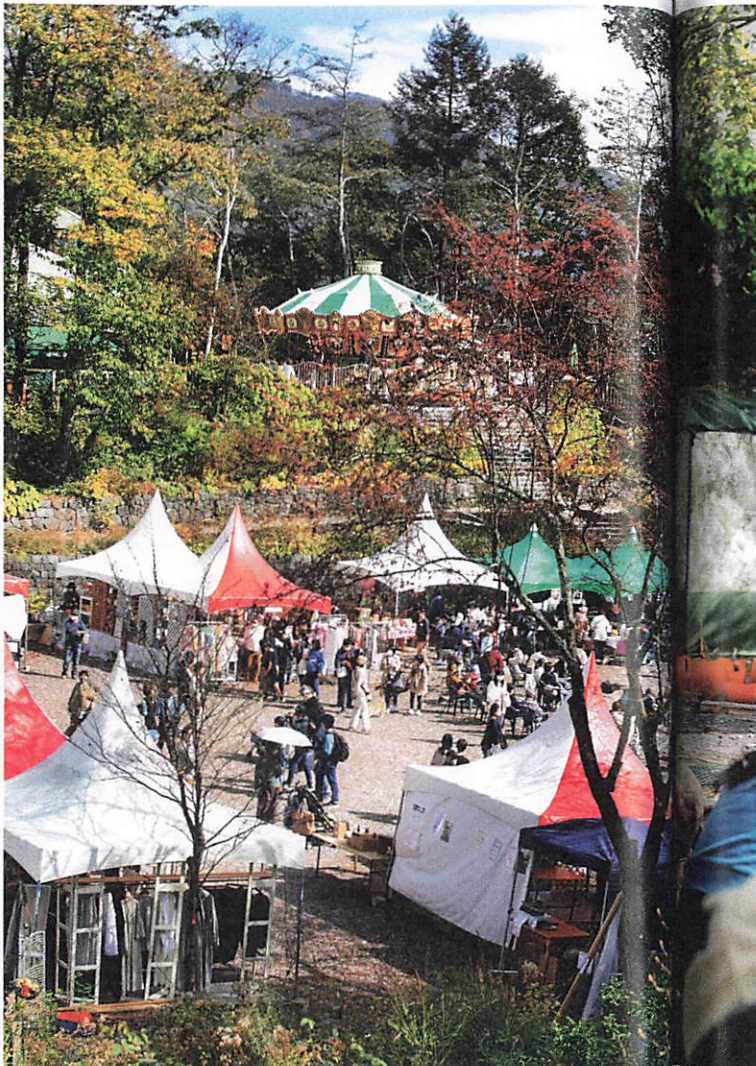
メイン会場の中央広場エリアは「カントリーマーケット」として全国の人気ショップ18店が集結。クラフト雑貨やガーデン雑貨、天然素材の衣類などのブースやワークショップコーナーが並び、ステージはライブコンサートやトークショー、抽選会で賑わった。ROCKの前では「八ヶ岳マーケット」を開催。ハンドメイドの革小物やデザイン石鹸、キルト、アクセサリーなど、八ヶ岳に根を下ろす地元9店舗が出店した。オルゴール博物館前は、気鋭の個

作品を通して、モノに込められた思いと時間に触れる。
お気に入りの一点が必ず見つかる、秋の大人気イベントだ

地元のショップが集まる「ハケ岳マーケット」。ROCKの飲食ブースは、人気のボックスベアリブを求めて毎年行列ができる。



イベントで買い物やステージを楽しんだら、メリーゴーラウンドやオルゴール博物館など、萌木の村の施設も巡ろう。



ステージのある中央広場「カントリーマーケット」を中心に、萌木の村全体がお祭りの雰囲気で見られる。



ワークショップでは、自然木を使ったトナカイ作りや、鹿皮のしおりや鹿角のキーホルダーといったナチュラルグッズ作り、松ぼっくりを使った小さなクリスマスツリー作りなどを通して、ハンドメイドの楽しさを体験できる。

人作家26名が一堂に会した「ハンドメイドマーケット」で、作り手の思いがこもった一点物のハンドメイド作品がずらり。「毎年来ているけれど、1日では回りきれないくらい！」という嬉しい悲鳴をあげるファンもいるほどだ。また、飲食ブースではハケ岳の素材を使用したさまざまな名店の味が楽しめる。とあって、誰もが心待ちにしていた。

今回の「カントリーフェスタ」は、特にワークショップに力を入れた。子どもはもちろん、大人も夢中になれるのがハンドメイド体験の魅力だろう。

大量生産できないハンドメイド作品は、世界で一つだけのものだ。作品を手にするときのワクワクした時間や思い出もまた、唯一無二のものだ。ここにしかない「モノ」に触れ、ここでしか得られない時間と思いを満喫できる、清里ならではの秋の祭典だ。



山梨・北杜市
萌木の村
もえぎのむら

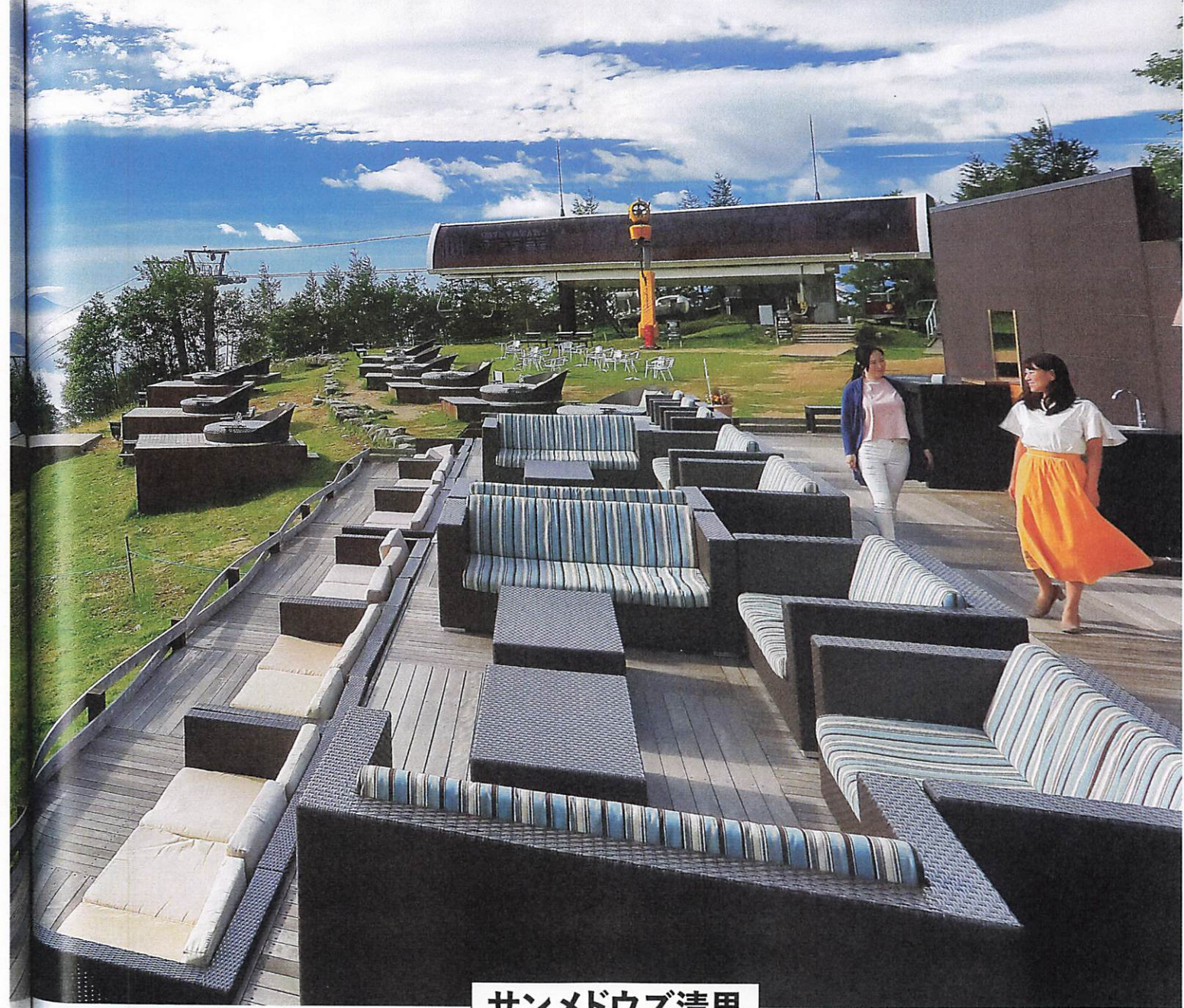
☎ 0551-48-3522

📍 山梨県北杜市高根町清里3545

🕒 営業時間と定休日は店舗により異なる。

HPを参照

T R A C T I O N



サンメドウズ清里

天空の別世界で過ごすプレミアムなひととき

絶景パノラマと
充実のアクティビティ

清里エリアの中でも最も高い標高1900mにある一大リゾートエリア「サンメドウズ清里」。冬はスキー、グリーンシーズンにはさまざまなアクティビティが楽しめる。中でも数々のメディアに取り上げられるほど評判を呼ぶのが山頂にある「清里テラス」だ。目の前に広がるのは、まさに360度の大パノラマ。真っ青な青空、眼下に広がるのは緑豊かな野辺山高原、天気の良い日には霊峰・富士の姿も拝むことができる絶好のロケーションだ。展望デッキのソファでのんびりするのもいいが、さらに贅沢を味わいたいなら事前予約制のプレミアムシートがおすすめ。寝転がりながら仰ぐ空と景色は、まさにここでしか体験できない眼福。2022年7月には日本初上陸の乗り物アトラクション「Gカート」などが楽しめるアクティブエリアがオープン。ハンモックでのんびりできるチルエリアも誕生。ますます楽しみが広がっている。

A NEW ATTITUDE

清里で人気のスポットや店が発信する、新しい価値

スキー場やレストラン、ミュージアムなど
清里ファンなら誰もが知る「あの場所」の新しい楽しみ方、過ごし方を紹介

RESORT TERRACE

岳ブルーの青空を眺めながら、友人、家族など大切なひとのんびりくつろごう。



・北州市
・メドウズ清里
ドウスきよさと
☎1-48-4111
梨県北州市大泉町西井出8240-1
www.sunmeadows.co.jp

DAY CAMP



道具も食材もおまかせ ぶらり気軽にキャンプ

緑あふれる高原の森の中にある、プライベート感あふれるキャンプエリア。道具も食材もすべて揃っているの
で、手ぶらでバーベキューが楽しめるのも嬉しい。

G-KART



絶景を楽しみながら 風を切って山を疾走!

動力のないカートで一気に山を駆け下りるスリル満点の
アトラクション。疾走するスピード感と迫力のコーナ
ーリングが楽しめる2つのコースがあり、大人も大満足。

K i y o s a t o M A P





八ヶ岳

長野県

富士見町

女神の森
セントラルガーデン

